

【目指す学校像】

- 安全の下、一人一人が認められ、安心して生き生きと学べる学校
- 保護者、地域から信頼される社会に開かれた学校
- 教職員が互いに支え合い、やりがいと誇りをもって協働する学校

学校教育目標

豊かな心を持ち、生き生きと活動する子供を育成する

【目指す教師像】

- 高い倫理観を持ち、信頼と期待に応える教師
- 子供に寄り添う、人間性豊かな教師
- 自己教育力の向上を目指し研鑽する教師

1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

◎学習計画や学習評価に見直しを持たせるとともに、子供の発言や疑問を生かして、身に付けるべき資質・能力を明確にしためあてを設定し、めあてとつながるまとめ・自らの学びを自覚できるよう視点を明確にした振り返りのある学習過程による授業改善に努めます。

◎指導者用デジタル教科書や一人1台端末を、ねらいを達成するために有効に活用するとともに、個別最適な学びと協働的な学習を一体的に推進し、学習の個性化にも取り組みます。

◎ALTや前橋イングリッシュサポーターと連携し、外国語の音声に慣れ親しみ、コミュニケーションを行う目的や場面・状況等を明確にした言語活動の充実を図ります。

2 積極的な生徒指導と「特別の教科 道徳」を要とする心の教育(人権教育)の充実

◎児童を行事等にできるだけ参画させ、自己決定の場を作ったり、誰でも活躍・発表できる場を増やし、主体的な活動を通して自己肯定感や自己有用感を高められるようにしたりして、行事や委員会活動等の充実に努めます。

◎縦割り班活動を取り入れ、異学年交流を通して他者とのかかわる喜びを体感させ、自己有用感を高めることや他者への敬意の念を涵養することに努めます。

◎各教科や「特別の教科 道徳」など、学年内での交換授業を取り入れ、子供たちをより多角的に見取りながら互いに支え合い高め合い、気持ちよく生活できる居心地の良い集団(学級等)づくりを行います。

◎特別支援教育の視点を生かした学習指導・学級経営を推進し、一人一人の児童の自己存在感を高められるようにします。

◎大人(教師)が本気で取り組む姿、真剣に向き合う姿、楽しんで仕事をする姿、時には失敗する姿を子供に見せることにより、一生懸命に取り組む素晴らしさややりがい、失敗してもよいという安心感を持たせるように努めます。

◎問題行動等の未然防止や早期発見のために、日頃から子供一人一人の状況を見取り、個に応じたきめ細かな対応や支援を心がけるとともに、初期対応と報告・連絡・相談を大切にされた組織的な生徒指導を行います。

◎子供が安心してSOSを出せる関係を構築するとともに、子供が出す小さなSOS(変化)を受け止める(見逃さない)力を身に付けます。

3 地域の環境を生かした教育活動の推進

◎桃ノ木川を愛する心を育む「ラブ・リバー活動」や読み聞かせボランティアなど地域人材等の外部人材を活用した教育活動を充実させ、地域と一体となった特色ある教育活動を実施します。

4 保護者や地域住民との協働による学校運営の充実

◎各種通信やホームページで学校の情報を定期的に発信し、PTA活動や学校運営協議会等を通して、家庭や地域からの学校に対する意見等も積極的に取り入れていきます。

◎学習参観や懇談会、オープンスクール、運動会等の学校行事を通して、教育活動の意図や良さ、思いを伝え、理解を図ります。

5 教職員の職能成長

◎一人一人の教職員が各教科や外国語活動・外国語の授業等を公開することにより、お互いの授業を自由に見合うことができる風土を醸成し、より質の高い授業づくりを協働して行うとともに、教科別指定校2年目の授業発表に向け、授業者を中心に全教職員で取り組みます。

◎OJTや校内研修・自己研修を通して、日常的に教え合い、高め合う教師集団の形成に努めるとともに、プロ意識を持ち、子供のために何ができるのかを考え続ける教師集団としての醸成を図ります。

6 勤務環境の改善

◎「教科担任制」の導入により教材研究の精選等を行い、子供と向き合う時間の確保につなげます。

◎年度初めや余剰時間の授業をカットすることで、新年度や学期ごとの学年・学級体制を整える時間的余裕を確保します。

◎各自の教材研究等によって得られた成果を電子的に保管し共有することにより、効率的な質の高い授業づくりを行います。

◎働き方改革事例集等を参考に、本校に合った取組を協議し、導入実践します。

人と人とのつながりを大切にし、子供も先生も明るく元気な学校

たすけ合う

思いやりをもって
互いに高め合う子

やりとおす

深く考え判断し 自ら学びとる子

よく考える

たくましさを持ち
ねばり強くやり抜く子